

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代組織論		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 マサユ	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	社会は人々の集まり、様々な社会集団から成り立つ。その社会を維持するために、秩序、規範などから様々な組織を形成し、社会的人間として生きる。本科目は社会学の視点から、現代社会はどのような方向で変化しているか、日本社会の歴史の変遷から見ると、暮らしや組織、集団がどのように変わってきたか、医療従事者として注目する社会指標は何かに着目して学習する。さらに、人間生活の基本的な集団である家族から集団、組織、システム、制度などを理解することを目的とする。この科目の学びを通して、現在、自分の所属する集団、組織の在り方を学び、将来所属する組織を理解する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )				
学習上の助言	将来の理想的な自分像を描きながら、看護の専門職を目指して、日々励んでほしい。社会の組織の中で、周囲に支えながら生活をしていることを自覚しながら、他者への思いやりを持ち、学んでほしい。				
教科書	教科書は指定しない、必要に応じてプリントを配布する				
参考書	家族看護学 看護学テキスト/山崎あゆみ/原礼子編著/南雲堂/2022年				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会の中の「組織」「集団」について理解できている		HSU(5)(6),NS(2) (4)		
②	マクロな「組織」について、理解できている。		HSU(1)(5),NS(2) (4)		
③	身近な「集団」「組織」について理解できている。		HSU(5)(6),NS(2) (4)		
④	家族の集団、組織を基本に社会の組織、集団が考えられる。		HSU(5)(6),NS(2) (4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、社会の中の組織とは？ 社会学的視点から組織を学習する。	講義	復習学習として、社会のマクロレベル、メゾレベル、ミクロレベルの組織をノートに整理する。		2
2	現代社会の動向とその特徴を学習する。 マクロな組織の視点から学ぶ。	講義	復習学習として、グローバル化、国際化、地球環境問題、NPO、NGO 等組織の役割		4
3	日本社会の変化とその課題を学習する。 メゾレベル、ミクロレベルの組織から学ぶ。	講義	復習学習として、人口構造の変化による影響を確認する：少子高齢化問題、経済、雇用、社会保障問題		4
4	日本社会の歴史の変遷と人々の暮らしにみる組織の変化。	講義	準備学習として、歴史年表を確認しておく。復習学習として、歴史的变化から制度としくみ、組織がどのように変わると人々の生活が変化したかを学びなおす。		4
5	人々の生活拠点としての集団、組織： 家族から社会を考える。	講義	復習学習として、人間にとって最も基礎的で身近な集団、組織である家族を理解する。		4
6	社会の中の集団、組織、個人 社会システムと規範、道徳と倫理、情報化、ネットワーク社会	講義 グループワーク	復習学習として、組織と集団の類似と相違を理解し、人々の在り方を考える。		4
7	人の一生と集団、組織の変遷： 地位と役割論から、リーダー、マネージメント	講義 グループワーク	復習学習として、私たちは一生涯どのような集団、組織に属して生きていくか、その位置、地位、役割を考える。		4
8	まとめ (プレゼンテーション、ディスカッション)	講義 プレゼンテーション グループワーク	授業を通して、新たに発見したことを語り合い、まとめる。		4
試	レポート				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	20	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	5	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	5	15
	コミュニケーション力	0	10	10	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	5	15
問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10	
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	毎回、小レポートを書かせる。授業で学んだ知見を必ず記入、疑問、質問がある場合は記入する。学びを通し、新たな気づきやリアクションペーパーに、記述さなどについて評価する。また、提示した課題に関して、論旨を考慮して、自分の考えなどが表現されているかを総合的に評価する。				授業の初めに前回のレポートにおける疑問、質問を解説、回答する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①	✓	積極的に参加、自分の考えを表現しているか、努力しているかを評価する。				発表の終わりに評価、コメントする
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①		誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、グループワーク、プレゼンテーション時、積極的に自分の意見を述べられているか、他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどディスカッションができていないかなどを評価する。				授業のはじめか終わりに評価、コメントする
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価に含む。また、グループワーク、プレゼンテーション時、積極的に自分の意見を述べられているか、他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどディスカッションができていないかなどを評価する。				授業のはじめか終わりに評価、コメントする
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を45年以上有したものである。						
実践的授業の内容	毎回、小レポートを書かせる。授業で学んだ知見を必ず記入、疑問、質問がある場合は記入する。学びを通し、新たな気づきやリアクションペーパーに記述されているなどについて評価する。また、提示した課題に関して、論旨を考慮して、自分の考えなどが表現されているかを総合的に評価する。授業態度や講義中の質問に発言する貢献度を鑑み、レポートと総合して評価を行う。						
そ の 他							